

これからのソーシャルワーク専門職 養成教育について考える

現在、私たちの地域生活における課題は多様化・複雑化し、それらを解決するため、ソーシャルワーク専門職教育には、個別支援に加え、地域を基盤とした総合的かつ包括的な支援、地域課題の解決に向けた取り組みを行える人材養成が求められています。社会保障審議会福祉部会福祉人材確保専門委員会において教育カリキュラムの見直しが行われてきましたが、これらの議論に踏まえ、これからのソーシャルワーク専門職教育のあり方について考えます。

2019年

3月17日 日

13:00-17:00 (受付: 12:30~)

同日開催

テーマ：さとにきたらええやん上映会

目的：子どもの貧困や福祉に関心を持つ
きっかけを提供したい

対象：誰でも参加可能です。学生等も大歓迎です。
費用：無料です。

時間：10:00~12:00 (開場：9:30)

場所：B3棟117 (午後と同じ教室です。)

主催：生活困窮者の支援の在り方研究会 (Switch)

Program

12:30~	受付
13:00~13:30	精神保健福祉士養成に係る教職員等の情報交換会
13:30~14:30	臨時総会
14:30~16:00	厚生労働省社会福祉専門官の添田正揮氏のご講演
16:00~17:00	質疑応答
17:00~	情報交換会

Application

- 参加費：無料
- 情報交換会：シンポジウム終了後、大学近くで予定しています。会費は4000円、院生の方は2000円程度の予定です。
- 申込方法：お名前、ご所属、メールアドレス、情報交換会参加可否をご記入の上、以下の申し込み先まで、2019年3月11日(月)までにご連絡ください。

大阪府立大学 山野則子研究室
シンポジウム用アドレス：sympo190317@gmail.com

【会場】

大阪府立大学
中百舌鳥キャンパス B3棟117

